

平成30年度

琉球大学大学院医学研究科（修士課程）

学生募集要項

一般、社会人及び外国人留学生志願者、入学資格の認定による志願者の出願日程は、以下のとおりです。
募集人員に満たなかった場合は第2次募集を行います。

【一般入試、社会人入試及び外国人留学生入試】

	第1次募集	第2次募集
出願期間	平成29年8月3日（木） ～8月10日（木） （土、日を除く）	平成30年1月18日（木） ～1月25日（木） （土、日を除く）
審査結果※	平成29年9月7日（木）	平成30年2月2日（金）
選抜試験	平成29年9月23日（土）	平成30年2月17日（土）
合格発表	平成29年10月27日（金）	平成30年3月16日（金）

※入学資格審査のみ



琉球大学大学院医学研究科

琉球大学大学院医学研究科

【アドミッションポリシー】

(修士課程)

- 1 各々の専門分野での経験・知識・技術を活かして、生命医療科学・医療福祉の分野の研究の発展に寄与し、社会に貢献したいと考える人
- 2 医療の専門性を理解し、高度医療職業人として地域特性に対応した医療と福祉に従事することを目指す人
- 3 修士課程での研究を基に、さらに博士課程への進学を志す人

【カリキュラム・ポリシー】

- 1 研究分野間の有機的な連携による教育体制を構築する。
- 2 包括的で多様な知識や技術獲得を促す学生指導を行う。
- 3 国際的な活躍、かつ、リーダーシップを発揮する高度な人材を育成するため、異分野横断的な大学院プログラムを展開する。
- 4 最新の生命科学の知識を提供する。

【ディプロマ・ポリシー】

(修士・博士課程共通)

研究・生命科学・医療において正しい倫理観を備える。

(修士課程)

- 1 医学の分野における基礎知識を習得している。
- 2 研究を計画・実施し、得られた結果を解析できる。
- 3 研究結果を他分野の研究者に説明ができる。

募集要項、入学願書等の郵送による請求方法

『平成30年度大学院医学研究科(修士課程)学生募集要項』と朱書し、返信封筒(角型2号・返信切手速達希望570円、普通希望290円貼付・受取人の住所、氏名、郵便番号を明記)もしくは、レターパックを同封し、下記あてに請求してください。

〒903-0215 沖縄県中頭郡西原町字上原207番地
国立大学法人琉球大学 医学部学務課(入試担当)
☎(098)-895-1032又は1053

目 次

学生募集要項	1
1. 専攻及び募集人員	1
2. 出願資格	1
3. 入学資格審査	2
4. 出願期間及び手続（入学資格審査を含む）	2
5. 東日本大震災及び熊本地震により被災した平成30年度琉球大学入学者選抜試験志願者の検定料に関する特例措置について	5
6. 選抜方法	6
7. 合格発表	6
8. 入学手続	6
9. 注意事項	6
10. 第2次募集について	7
11. 長期履修制度について	7
12. 入学料及び授業料	8
13. 奨学金制度	8
14. 保険について	8
15. 身体に障がい等を有する入学志願者の事前相談について	9
研究科案内	10

出願書類様式等

学生募集要項

1. 専攻及び募集人員（募集人員には、社会人、外国人留学生を含む。）

専攻	募集人員
医科学	15名

注1. 社会人とは、病院、研究所、官公庁、企業等に勤務し、入学後もその身分を有する者とする。

注2. 入学志願者は、教育研究分野を第2志望まで出願することができる。

2. 出願資格

- (1) 大学を卒業した者及び平成30年3月卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者、又は平成30年3月までに学士の学位を授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び平成30年3月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (7) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
- (8) 平成30年3月31日までに大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し、本研究科において、所定の単位をすぐれた成績をもって修得したものと認めた者
- (9) 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学したものであって本研究科において、大学院における教育をうけるにふさわしい学力があると認めた者
- (10) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、平成30年3月31日までに22歳に達した者

大学院設置基準第14条による教育方法の特例による教育の実施について

※ 趣旨

近年、医療技術の進歩により社会は複雑高度化し、医療及び福祉への急速なる変革をもたらしています。大学院にあっては、一層の学術の高度化と総合化、創造的職業人養成の強化が急務となり、社会人にあっては、最新の医療技術、医療機器に対応するための日常的研鑽が必須になってきています。

そこで本研究科では、大学院設置基準第14条特例の昼夜開講制による授業を実施します。昼夜開講制とは、夜間や特定の時間又は時期に授業・研究指導の時間を設け、現に実施診療にあたっている医師、企業に勤務している社会人技術者、教育者及び研究者等の社会人に大学院の授業、研究指導をより受け入れ易くする制度です。

(注) 大学院設置基準第14条

「大学院の課程においては、教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。」

3. 入学資格審査

「出願資格(8)・(9)・(10)」に該当する者は、個別に入学資格の審査を行いますので、出願書類(P3、4参照)とともに、次の申請書類を提出してください。

(1) 入学資格の認定に必要な書類

① 志望理由書	本学所定の用紙に研究科を志望した理由及び入学後の研究志望の概要を記入してください。
② 最終学歴に関する証明書	卒業(修了)証明書、成績証明書(短期大学の専攻科又は高等専門学校の専攻科を卒業(修了)した者は、短期大学又は高等専門学校の卒業(修了)証明書、成績証明書を併せて提出してください。)
③ 最終学歴の学校に関する資料	入学資格、卒業(修了)要件、修業年限、カリキュラム等が記載されている資料を提出してください。
④ その他学修に関する資料	科目等履修生等の成績証明書等提出してください。
⑤ 研究歴証明書(該当する者)	本学所定の用紙に大学、研究所等において研究に従事したことのある者は、記入のうえ、提出してください。
⑥ 研究業績目録(該当する者)	学術論文等を有する者(論文の別冊、又は写しを添付)
⑦ 返送用封筒	長形3号の封筒に、郵便番号、住所、氏名を明記のうえ362円切手を貼ったものを提出してください。

※出願に際しては、必ず希望する指導教員と連絡を取り提出すること。

4. 出願期間及び手続(入学資格審査含む)

(1) 出願者は、次の出願書類及び入学検定料納付証明書(大学用)を添えて、出願期間内に提出すること。

出願期間：平成29年8月3日(木)～平成29年8月10日(木)(土、日を除く)

受付時間：午前9時～午後5時

期限後に到着した場合は受理しません。

郵送の場合は、必ず『書留』とし、封筒に「大学院医学研究科(修士課程)入学志願書類在中」と朱書きして平成29年8月10日(木)午後5時までに必着のこと。

提出先：〒903-0215 沖縄県中頭郡西原町字上原207番地

国立大学法人琉球大学 医学部学務課入試担当

TEL 098-895-1032 又は 1053

(2) 入学資格審査の結果通知

審査は提出された申請書類により行い、その結果は、平成29年9月7日(木)本人あてに通知書を送付します。

(3) 出願書類

出願書類等	摘 要
①入学志願票	本学所定の用紙に必要事項を記入してください。 ※職歴等記載欄が足りない場合は、別紙(A4様式自由・左上に氏名を記載)を作成してください。
②成績証明書	出身大学(学部)長等が作成し、厳封したものを提出してください。大学院修士(博士前期)課程修了者にとっては、学部在籍時の成績証明書を提出してください。
③卒業(修了)又は見込み証明書	出身大学(学部)長が作成したものを提出してください。(中途退学者は、退学証明書又は在学期間証明書を提出してください。)
④検定料納付証明書(大学用)	検定料 30,000円(別添の「検定料振込書」を使用してください。) 検定料振込期間 平成29年7月27日(木)～8月10日(木) ※ 特例措置対象者(P5下段参照)は、検定料を振込まず、申請手続きを行ってください。 1. 振込方法 ア. 検定料振込書の※印欄を黒のボールペンで正確に記入してください。 《依頼日、入学志願者氏名(フリガナ)、住所、振込先(枠内に○印)》 イ. 必ず金融機関(銀行等)の窓口で振込み、ATM(現金自動預払機)は使用しないでください。 ウ. 振込手数料については、志願者本人負担となります。 エ. 金融機関窓口から「検定料納付証明書(大学用)」を受け取る際は、取扱金融機関収納印を確認してください。 オ. 「検定料納付証明書(大学用)」は <u>出願書類に同封して提出</u> してください。 ※この募集要項添付の「検定料振込書」が使用できない場合は、各金融機関備付の振込依頼書で振込んでください。 振込依頼人氏名は、先に募集区分(医学研究科修士課程は471)、次に志願者本人氏名としてください。 例 471タ イカ クタロウ 振込先口座、金額及び募集区分は「検定料振込書」で確認してください。 受領書の写しを「検定料納付証明書(大学用)」の代わりに提出してください。 2. 留意事項 ア. 検定料が振込まれていない場合、「検定料納付証明書(大学用)」が出願書類に同封されていない場合、「検定料納付証明書(大学用)」に取扱金融機関収納印がない場合は、出願書類を受理しません。

出願書類等	摘 要
④検定料納付証明書 (大学用)	<p>イ. 既納の検定料は次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。</p> <p>①検定料を振込んだものの、出願しなかった場合(出願書類を提出しないまま出願期間が終了したり、書類不備等により出願書類が受理されなかった場合)</p> <p>②誤って検定料を二重に振込んだ場合</p> <p>③特例措置対象者(P5下段参照)が検定料を振込んだ場合</p> <p>※ 上記①②に該当する場合は、(1)現住所、(2)電話番号、(3)志願者本人氏名(フリガナを明記)、(4)納付年月日、(5)納付金額、(6)返還請求の理由、(7)振込口座(①金融機関名、②支店名、③預金種別、④店番、⑤口座番号、⑥口座名義(フリガナを明記)を記入した「返還金払戻請求書」(任意様式)を作成し、氏名欄へ押印のうえ、「検定料納付証明書(大学用)」を同封して下記へ送付してください(封筒には「返還金払戻請求書在中」と朱書きしてください)。(返還は銀行振込で行います。保護者名義口座の場合は必ず続柄も明記してください。ゆうちょ銀行口座を指定する場合は、振込用の店名・店番・預金種目・口座番号を明記してください。返還には請求書受理後2～3ヶ月程度かかります。)</p> <p>※ 上記③に該当する場合は、返還手続(P5参照)を行ってください。</p> <p>送付期限：平成30年3月30日(金)</p> <p>送付先：〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地 琉球大学財務部経理課収入・支出係 TEL098-895-8058</p>
⑤受験票・写真票	<p>本学所定の用紙に出願前3か月以内に撮影した、上半身、脱帽、正面向・縦4cm・横3cmの写真を所定の欄に貼付してください。</p>
⑥受験票等送付用封筒	<p>長形3号の封筒に自己のあて先・郵便番号を明記し、必ず362円の切手を貼付してください。</p>
⑦在留資格を証明する物 (該当者のみ)	<p>日本国内に居住している者は、入国査証(Visa)の写し、住民票の写し(市区町村長発行。記載事項の省略が無いもの。)等を提出してください。</p> <p>日本国内に居住していない者は、「入国カード」の写し又は旅券(パスポート)等の写しを提出してください。</p>
⑧受験許可書 (社会人のみ)	<p>大学院に在学中の者は、大学長等の受験許可書を、また、官公署、会社等に在職中(予定者含)の者は、入学年度に在職(予定)する所属長の受験許可書(別紙様式)を提出してください。(本学大学院医学研究科、医学部附属病院に在職している場合は、所属する講座の長又は診療部科長の印)</p>
⑨戸籍抄本 (該当者のみ)	<p>成績証明書及び卒業(修了)(見込み)証明書等に記載されている氏名と現在の氏名が異なっている者のみ提出してください。</p>

※出願に際しては、必ず希望する指導教員と連絡を取り提出すること。

5. 東日本大震災及び熊本地震により被災した平成30年度琉球大学入学者選抜試験志願者の検定料に関する
特例措置について

琉球大学では、平成30年度の全ての入学者選抜に関して、被災者の経済的負担を軽減することにより、
受験の機会を確保するため、以下のとおり特別措置を実施します。

(1) 措置内容

検定料の免除

大学院入試 30,000円

(2) 免除の対象者及び必要書類

対 象 者	必 要 書 類
A. 東日本大震災及び熊本地震における災害救助法が適用されている地域で被災した志願者で、以下のいずれかに該当する者	
ア 主たる家計支持者が所有する自宅家屋が全壊、大規模半壊、半壊、流失した場合	り災証明書
イ 主たる家計支持者が死亡、又は行方不明の場合	死亡又は行方不明を証明する書類
B. 居住地が福島第一原子力発電所事故により、帰還困難区域、居住制限区域又は避難指示解除準備区域に指定された者	被災証明書

(3) 申請の方法

本学所定の様式（検定料免除申請書）に、り災証明書等を添えて、出願書類とともに同封のうえ提出してください。

なお、申請する場合は、「検定料」を振り込まないよう注意してください。

また、すでに納付した検定料の返還を希望する場合は、本学所定の様式（返還金払戻請求書）に、り災証明書等を添えて各学部学務担当へ申請してください。申請後、検定料を返還します。

※返還金払戻請求書の提出期限：平成30年3月30日（金）

提出先

〒903-0215 沖縄県中頭郡西原町字上原207番地

国立大学法人琉球大学 医学部学務課入試担当

TEL 098-895-1032 又は1053

6. 選抜方法

入学者の選抜は、学力検査、成績証明書の結果を総合して判断します。

(1) 学力検査の日時・試験科目

日	時	科 目	備 考
平成29年 9月23日(土)	10:00 ～ 11:40	英語	筆記試験 辞書は、英和、和英、医学辞書持込み可 (電子辞書は持込み不可)。
	13:10 ～ 14:10	面接(口頭試問)	志望する研究関連領域等について行う。

注1. 受験者は、9時30分までに本学臨床講義棟2階の試験会場に集合すること。

注2. 「英語」の試験については次に該当する者は免除する。

- ①英検1級合格者 ②TOEFL:PBT(580点以上)、CBT(237点以上)、iBT(92点以上)
- ③TOEIC(860点以上) ④国連英検特A級及びA級商業英語Aクラス

注3. 台風の接近が予想される際は、琉球大学医学部ホームページでお知らせいたしますので、ご確認をお願いします。(http://www.med.u-ryukyu.ac.jp/)

(2) 試験場 琉球大学医学部 臨床講義棟2階

7. 合格発表

合格者の発表は、平成29年10月27日(金)14時に本学医学部学務課(がじゅまる会館2F)前掲示板に掲示するとともに、合格者に対しては、郵送で通知します。

※ 発表に関しては、電話による問い合わせには一切応じません。

8. 入学手続

(1) 入学手続期間

平成30年3月中旬～下旬予定

(2) 入学手続場所

琉球大学医学部学務課入試担当

(注) 入学手続については、合格者あてに別途入学手続案内を送付します。

9. 注意事項

- (1) 出願書類に不備がある場合には、受理しないことがあります。
- (2) 出願書類の提出後は、いかなる理由があっても出願事項の変更は認めません。また入学検定料は返還しません。
- (3) 記載事項に虚偽の記入をした者は、入学後でも入学許可を取り消すことがあります。

10. 第2次募集について

合格者が募集人員に満たなかった場合、次の期日に第2次募集を行います。

※ 出願手続、選抜方法等は、第1次募集に準じます。

(1) 出願期間及び手続(入学資格審査を含む)

出願期間 平成30年1月18日(木)～平成30年1月25日(木)(土、日を除く)

受付時間 午前9時～午後5時

郵送の場合は、必ず『書留』とし、封筒に「大学院医学研究科(修士課程)入学志願書類在中」と朱書きして出願期間内までに必着のこと。

(2) 入学資格審査の審査結果

結果通知 平成30年2月2日(金)に本人あてに通知書を送付します。

(3) 学力検査の日時等

平成30年2月17日(土)

※学力検査科目、試験時間については、第1次募集に準じます。

(4) 合格発表

平成30年3月16日(金)14時

本学医学部学務課(がじゅまる会館2F)前掲示板に掲示するとともに、合格者に対しては、郵送で通知します。

※ 発表に関しては、電話による問い合わせには一切応じません。

(5) 入学手続

入学手続期間 平成30年3月中旬～下旬予定

入学手続きについては、合格者あてに別途通知します。

11. 長期履修制度について

長期履修制度は、職業を有している等の事情により、標準修業年限で修了することが困難である学生を対象として、標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し修了することができ、かつ、その間の授業料の年額の負担を軽減することができる制度です。

希望者は、事前に指導教員と研究計画について相談し、職業を有する者は、長期履修制度の利用にあたっては、各自で勤務先の内諾等を得るようにしてください。

12. 入学料及び授業料の免除制度

入学料 282,000円(予定額)

授業料 (前期分) 267,900円 (年額535,800円)(予定額)

- (注) ① 上記については予定額であり、入学時及び在学中に金額の改定が行われた場合は、改定時から新たな金額が適用されます。
- ② 授業料の納入については、本人の申し出により前期分の納入の際に、後期分も合わせて納入することができます。
- ③ 入学料の免除又は徴収猶予あるいは授業料の免除を希望する者(対象者については、合格者に送付する「入学者心得」で詳しく説明します。)は所定の免除申請手続きを行うことにより、免除又は徴収猶予の可否が決定されるまでの間、入学料又は授業料の納入が猶予されます。

13. 奨学金制度

日本学生支援機構の奨学金制度があり、「予約採用」又は「定期採用」の申込が可能です。

① 予約採用

大学院に受験予定の者は、入学前に「予約採用」の申込ができます。

「予約採用」を希望する者は8月頃に掲示板及び琉球大学HPで募集の通知をします。

本学医学研究科を受験し、奨学金の「予約採用」を希望する者は、提出期限日を確認の上、申し込みください。

② 定期採用

入学後(4月)に申請を受け付けます。募集説明会の開催及び募集要項の配布については、3月に掲示板及びHPでお知らせします。

問い合わせ先 学生部学生支援課 奨学係 TEL: 098-895-8136

E-Mail: gksygsn@to.jim.u-ryukyu.ac.jp

14. 保険について

(1) 学生教育研究災害傷害保険 (略称「学研災」)

学研災は、正課、学校行事、学校施設内にいる間、学校施設内外での課外活動中又は通学中・大学施設間移動中に被ったケガに対し、その治療日数に応じて保険金が支払われる全国規模の補償制度です。

(2) 学研災付帯賠償責任保険 医学生教育研究賠償責任保険 (略称「医学賠」)

※学研災のオプションです。

医学賠は、学生が正課、学校行事、課外活動^(注1)又はその往復において、他人にケガをさせたり、他人の財物を損壊したこと等により、法律上の損害賠償責任を負担することによって被る損害について保険金が支払われます。

(注1) 大学の承認を受けた学内学生団体が行うインターンシップ又はボランティア活動をいいます。

在学中の万一の事故に備えて加入することをお奨めします。詳細等は入学手続き案内に同封されているパンフレットをご確認ください。

※学研災・医学賠の加入証明書は自動発行機(医学部学務課がじゅまる会館2階)で発行できます。

問い合わせ先: 学生部学生支援課 学生援護係 電話: 098-895-8135

15. 身体に障がい等を有する入学志願者の事前相談について

本研究科へ入学を志願する者で、身体に障がい等がある者は、受験上及び修学上特別な配慮を必要とすることがあるので、あらかじめ出願する際に医学部学務課入試担当（TEL 098-895-1032 又は 1053）に申し出てください。

— 個人情報の取扱いについて —

本研究科が入学者選抜を通じて取得した個人情報については、入学者選抜で利用するほか、次のとおり利用します。

- (1) 合格者の氏名等を入学手続きに関わる業務で利用します。
- (2) 入学手続き者の氏名等を入学後の学籍管理等、修学に関わる業務で利用します。
- (3) 入学手続き者及び学資負担者の住所・氏名等を授業料徴収など納入管理に関わる業務で利用します。
- (4) 入学者選抜で取得した成績等の個人情報を、入学料免除・授業料免除及び奨学生選考など、修学支援に関わる業務で利用します。
- (5) 個人が特定できないように統計処理したデータを、入学者選抜に関する調査・研究などに利用します。

※ 本研究科が取得した個人情報は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」第9条に規定されている場合を除き、出願者の同意を得ることなく他の目的で利用、または第三者に提供することはありません。

研究科案内

1. 目的

琉球大学大学院医学研究科（修士課程）は、近年の医学・医療分野の急速な多様化と発展に対応するため、医学部以外の学部、特に生命科学系及び関連する教育研究分野の卒業生を受け入れ、その知識・技術を医学の分野に効果的に生かし得る教育研究指導を行うことにより、生命医学の分野で幅広い知識・技術と応用力を身に付けた修士課程修了者を養成する。

また、短大、専門学校出身者を含む医療従事者や経済的な理由などで大学院博士課程への進学が困難な発展途上国の人材を積極的に受け入れ、社会科学系分野とも連携した調和の取れた包括医療、先進医療の在り方を探り、地域貢献や国際貢献の場で実践的役割を果たすことのできる高度専門医療職業人、中堅研究者の育成に努めることを目的とする。

2. 履修方法

修業年限は、2年とする。

医科学専攻（修士課程）の教育課程は、共通必修科目、必修科目及び選択必修科目から構成される。

ア 共通必修科目

医科学の基礎知識を修得させるために「研究方法概論」（2単位）、「生命倫理概論」（2単位）、「社会医学概論」（2単位）、「生命工学概論」（4単位）、「基礎医学概論」（2単位）、「臨床医学概論」（2単位）、「6科目14単位」を共通必修科目として修得する。

イ 必修科目

研究課題に応じた「医科学研究実習」を2年間で8単位必修科目として履修し、修士論文を作成する。

ウ 選択必修科目

医学研究の実際的技術を習得させるために、「人体構造実習」、「病院実習」（各2単位）のうちから選択必修科目として1科目を修得する。

エ 選択科目

研究課題に応じたより専門的な医学知識と特色科目を修得するために選択科目の中から、3科目6単位以上を履修する。

オ 学位（修士）論文の作成指導

学位論文の作成指導は、指導教員と関連した課題によって行う副指導教員によって行う。

3. 修了要件

修士課程に2年以上在学し、共通必修科目の14単位、必修科目の8単位、選択必修科目から2単位、選択科目から3科目6単位以上、合計30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けて学位論文の審査及び最終試験に合格すること。

4. 学位の授与

修士課程を修了した者には、修士（医科学）の学位を授与する。

医学研究科研究内容

○各メールアドレスの後の「.u-ryukyu.ac.jp」を省略してあります。

○ダイヤルインの前の「098-895」は、省略してあります。

講 座	指導教員(教授) メールアドレス (ダイヤルイン)	研 究 内 容
システム生理学	酒井 哲 郎 tsakai@med (1111)	<ul style="list-style-type: none"> ・膜電位の光学的測定法の各種神経組織および心臓への適用の拡大 ・膜電位の光学的測定法を用いた実験的心房細動の解析 ・光学的測定による中枢神経機能の解析
放射線診断治療学	村 山 貞 之 sadayuki@med (1160)	<ul style="list-style-type: none"> ・CT、MRI等の各種画像診断法による新しい診断法の開発 ・コンピュータによる画像診断の精度向上 ・腫瘍の放射線治療効果の先行因子の探索 ・新しいIVR手技による腫瘍治療法の開発 ・悪性腫瘍のテーラーメイド治療を目指した研究
脳神経外科学	石 内 勝 吾 ishogo@med (1169)	<ul style="list-style-type: none"> ・脳外科疾患に伴う脳機能障害の病態解明 ・障害された脳機能の賦活獲得に関する脳賦活科学の構築 ・生涯健康脳獲得のための脳機能解析 ・海馬歯状回における神経新生の制御メカニズムの解明 ・神経膠芽腫の階層的構築の解明
眼科学	新 任 教 員	未 定
育成医学	中 西 浩 一 knakanis@med (1155)	<ul style="list-style-type: none"> ・小児腎臓病、小児血液・腫瘍性疾患、先天性代謝異常、小児膠原病・リウマチ性疾患、新生児疾患、小児内分泌疾患、小児神経・筋疾患、小児アレルギー疾患、希少・難治性疾患の治療研究と分子生物学的病態解析
耳鼻咽喉・頭頸部外科学	鈴 木 幹 男 suzuki@med (1181)	<ul style="list-style-type: none"> ・脳機能画像を用いた感覚・運動障害の評価 ・遺伝子性難聴の病態、診断 ・メニエール病治療法の開発 ・頭頸部悪性腫瘍発生、治療効果と関連する遺伝子群およびウイルス感染の検索
精神病態医学	近 藤 毅 kondo@med (1158)	<ul style="list-style-type: none"> ・統合失調症における認知機能障害の機序解明 ・精神疾患の分子生物学的および神経生理学的な病態機序の解明 ・向精神薬の臨床薬理学的および薬理遺伝学的研究 ・各ライフサイクルにおける精神疾患の予防医学的研究
先進ゲノム検査医学	前 田 士 郎 smaede@med (1204)	<ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣病の遺伝素因解明 ・環境因子と遺伝因子の相互作用解析 ・薬剤感受性および副作用にかかわるゲノム情報 ・生活習慣病の個別化医療および予防法の構築
再生医学	野 口 洋 文 noguchih@med (1698)	<ul style="list-style-type: none"> ・ES、iPS細胞から各臓器・組織への分化誘導 ・iPS細胞、iPS類似細胞の作製および機能評価 ・間葉系幹細胞(骨髄由来・脂肪由来)を用いた細胞療法 ・膵・肝細胞の分離・培養技術の開発 ・膵島移植成績向上を目指した技術改変 ・血糖反応性インスリン分泌機能を持ったデバイス開発
分子解剖学	高 山 千 利 takachan@med (1103)	<ul style="list-style-type: none"> ・中枢神経系におけるGABAシグナルの発達変化に関する分子形態学的解析 ・遺伝子改変マウスを用いたGABAの機能解析 ・摂食行動の脳メカニズムに関する研究
ゲノム医科学	新 任 教 員	未 定
人体解剖学	石 田 肇 ishidaha@med (1100)	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒト形態の変異と遺伝子の関連 ・沖縄および北海道の化石人骨を含むヒトの形態ならびに遺伝学的研究

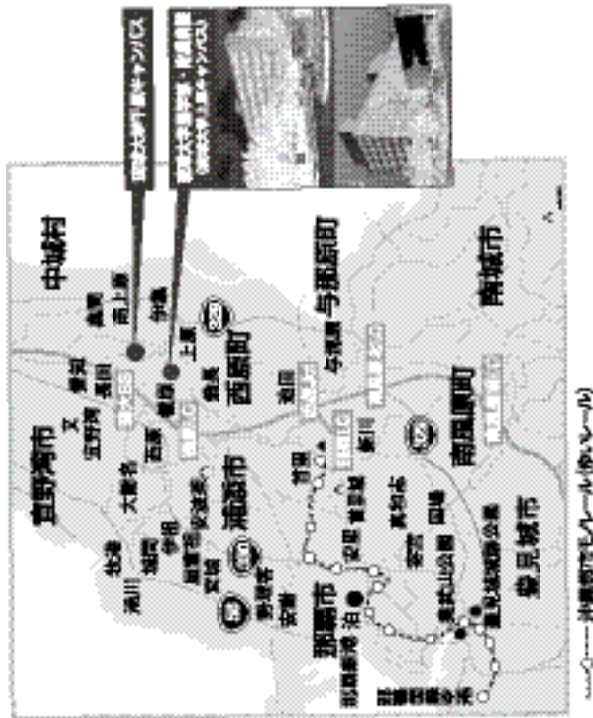
講座	指導教員(教授) メールアドレス (ダイヤルイン)	研究内容
分子・細胞生理学	松下 正之 masayuki@med (1106)	<ul style="list-style-type: none"> ・低酸素・酸化ストレス応答機構の解明 ・ヒトiPS細胞を用いた精神疾患の病態解明
薬理学	筒井 正人 tsutsui@med (1133)	<ul style="list-style-type: none"> ・生体内における一酸化窒素(NO)産生系の意義の解明 ・生体内における硫化水素(H₂S)産生系の意義の解明 ・循環器疾患・代謝性疾患の分子病態解明と創薬 ・新しい遺伝子改変マウスの開発と表現型解析
胸部心臓血管外科学	國吉 幸男 kuni9244@med (1166)	<ul style="list-style-type: none"> ・心臓血管手術成績向上のための基礎的、臨床的研究 ・胸部大動脈瘤手術における臓器保護に関する研究 ・人工臓器の開発 ・末期重症心不全に対する臨床的研究 ・TAVI治療に関する臨床的研究
麻酔科学	垣花 学 mnb-shk@ ryukyu.ne.jp (1187)	<ul style="list-style-type: none"> ・主要臓器(特に肺、脳)の病変修復機構の解明と治療法の開発 ・虚血性脳・脊髄障害の発生機序解明と治療法の開発 ・運動誘発電位モニタリングによる脊髄機能評価法の臨床応用に関する研究 ・生体ガス分子を用いた臓器保護の機序解明ならびに臨床応用に関する研究 ・神経変性疾患に対する硫化水素の神経保護効果の分子生物学的研究 ・自然免疫と中枢神経障害の関連に関する研究
整形外科	金谷 文則 fkanaya@med (1174)	<ul style="list-style-type: none"> ・末梢神経選択的再生の誘導と新しい神経縫合法および人工神経の開発 ・関節内移植靭帯の転帰と関節軟骨治癒機転に関する分子生物学的アプローチ ・先天性橈尺骨癒合症の分類と分離授動術の確立 ・腰部脊柱管狭窄症の病態解明と治療に関する研究 ・骨軟部腫瘍における分子標的治療薬の開発
腎泌尿器外科学	斎藤 誠一 ssaito@med (1184)	<ul style="list-style-type: none"> ・泌尿器系癌の腫瘍マーカー探索 ・泌尿器系癌の糖鎖生物学研究 ・泌尿器系癌の診断・治療に関する研究 ・前立腺癌の骨転移機構に関する研究 ・下部尿路機能障害の研究 ・夜間頻尿と生活習慣病の疫学
顎顔面口腔機能再建学	新崎 章 arasaki@med (1190)	<ul style="list-style-type: none"> ・口唇口蓋裂の包括的医療に関する研究 ・口腔癌の診断治療に関する臨床・分子生物学的研究 ・顎骨再建に関する基礎的・臨床的研究
救急医学	久木田 一朗 kukita@med (1196)	<ul style="list-style-type: none"> ・災害医療 ・心肺脳蘇生と生命維持法に関する研究 ・人工呼吸による肺傷害発生の機序解明に関する研究 ・遠隔救急医療災害医療
臨床薬理学	植田 真一郎 blessyou@med (1193)	<ul style="list-style-type: none"> ・糖尿病合併冠動脈疾患におけるコホート研究およびランダム化比較試験 ・薬剤コホート研究 ・薬物治療の至適化、個別化 ・心血管薬医師主導治験 ・ヒト血管薬理学
薬物治療学	中村 克徳 nkatsu@med (1346)	<ul style="list-style-type: none"> ・薬物代謝酵素、薬物トランスポータ、薬物受容体の遺伝子解析による個別化医療の研究 ・いわゆる健康食品と医薬品の相互作用回避のための調査研究 ・医薬品の適正使用のための調査研究 ・医薬品による副作用、特に重症薬疹の予測・対処法の臨床応用に関する教育・研究 ・沖縄県の特徴を踏まえた地域医療教育・研究

講 座	指導教員(教授) メールアドレス (ダイヤルイン)	研 究 内 容
医化学	荏谷 研一 kariya@med (1115)	<ul style="list-style-type: none"> 細胞の増殖、分化、アポトーシスや分泌、運動などに関する細胞内情報伝達系についての解析 癌、免疫異常、感染などの病態における細胞内情報伝達系の破綻・攪乱についての解析 プロテオーム解析、トランスクリプトーム解析と、遺伝子改変モデル生物(マウスおよび線虫C.エレガンス)を用いた実験(作成及び解析)
生化学	山本 秀幸 hideyuki@med (1112)	<ul style="list-style-type: none"> 記憶、学習に関するタンパク質リン酸化反応の研究 視床下部神経細胞の分化と機能発現に関わる細胞内情報伝達機構 ゼブラフィッシュを用いた個体レベルでのタンパク質リン酸化反応の研究
腫瘍病理学	吉見 直己 yoshimi@med (1118)	<ul style="list-style-type: none"> 化学発癌機構の分子病理学的解明 天然性物質等によるがんの化学予防 細胞診断・組織診断への分子病理学の応用 遠隔病理診断システム及びデジタルマイクروسコープの活用 ラオス子宮頸癌細胞診断への支援研究
細胞病理学	加留部 謙之輔 karube@med (1121)	<ul style="list-style-type: none"> 成人T細胞白血病/リンパ腫におけるゲノム異常解析と臨床病理学的解析 びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫の病態解析
衛生学・公衆衛生学	青木 一雄 aoki-k@med (1136)	<ul style="list-style-type: none"> ヘリコバクター・ピロリ感染と慢性萎縮性胃炎及び胃がんに関与する生活習慣、及び生活環境の疫学的研究 ヘリコバクター・ピロリ感染スナネズミを用いた環境変異原物質の胃発がんに関する免疫組織学的研究 血液(血清ペプシノゲン、血清ガストリン等)による胃がんスクリーニングの効率化に関する研究 混合有機溶剤(ヘキササン、トルエン、キシレン、MEK)の神経毒性増強メカニズムの解明 職場におけるメンタルヘルス改善プログラムの作成とそれらプログラムの実施評価に関する研究 地域におけるロコモ度チェックテストを利用した介護予防に関する疫学的研究
法医学	新 任 教 員	未 定
内分泌代謝・血液・膠原病内科学	益崎 裕章 hiroaki@med (1145)	<ul style="list-style-type: none"> 食の嗜好性・食行動変容に関わる脳内分子メカニズムの解明と医学応用および新しい治療法・予防法の開発 持続血糖モニターシステム(CGM)やグルコースクランプ装置を活用した糖尿病・肥満症の病態解明と新規治療薬の評価法の開発 血液悪性腫瘍の分子メカニズムの解明および新規の治療法・評価法の開発 副腎疾患の病態生理学的意義に関する臨床的・基礎的研究 高尿酸血症の病態生理学的意義に関する基礎的・臨床的研究 メタボリックシンドロームの病態解明に関する研究 糖尿病・骨髄移植(血液悪性腫瘍)、生活習慣病に関わる効果的チーム診療のシステム開発に関する研究 メタボロームを活用した代謝内分泌疾患、血液疾患、膠原病リウマチ疾患の病態解明と評価法の開発 FDG-PET/CTや機能的MRIを活用した内分泌代謝疾患・血液悪性腫瘍の新しい評価法に関する臨床的研究 膠原病リウマチ疾患の病態解明、評価法・治療法の開発研究 成人T細胞白血病の病態、治療法、疫学に関する臨床的・基礎的研究 骨髄移植後のGVHDを予防・緩和する脂肪組織由来幹細胞を用いた新しい細胞治療の開発

講 座	指導教員(教授) メールアドレス (ダイヤルイン)	研 究 内 容
循環器・腎臓・神経内科学	大 屋 祐 輔 ohya@med (1148)	<ul style="list-style-type: none"> ・血圧および循環調節機構 ・高血圧の成因と病態 ・循環器疾患、生活習慣病、腎臓病、神経疾患の疫学研究 ・高血圧や生活習慣病における臨床試験 ・動脈硬化の成因に関する研究 ・幹細胞による循環器疾患治療の開発 ・腎臓病の病態と治療に関する研究 ・脳卒中の病態および脳循環代謝の研究 ・神経疾患の病態に関する研究 ・栄養と健康に関する研究 ・地域の健康増進に関する研究 ・認知症の発症に関する研究
消化器・腫瘍外科学	西 巻 正 nishimak@med (1165)	<ul style="list-style-type: none"> ・高度進行消化器癌に対する広範臓器切除術と集学的治療法の研究・開発 ・外科的疾患に対する低侵襲手術の研究・開発 ・分子生物学的手法による癌微小転移診断と治療法の研究 ・癌の悪性化に関する分子腫瘍学的病態の解析と臨床応用研究 ・消化器癌に対する臨床試験による EBM と標準治療の確立
女性・生殖医学	青 木 陽 一 yoichi@med (1175)	<ul style="list-style-type: none"> ・婦人科悪性腫瘍に対する新たな治療戦略のための分子生物学的研究 ・子宮頸癌と Human Papillomavirus 感染に関する研究 ・婦人科腫瘍に対する温存治療、低侵襲手術に関する研究 ・Artificial Reproductive Technology (ART) 治療成績の向上のための研究 ・精神疾患合併妊婦に関する研究
微生物学・腫瘍学		学生募集は行っておりません
細菌学	山 城 哲 tyamashi@med (1125)	<ul style="list-style-type: none"> ・下痢症の疫学研究 ・腸管病原細菌の病原機構の解析 ・腸管病原細菌のゲノム解析 ・途上国住民の腸内細菌叢解析研究 ・レプトスピラ感染症の持続感染機構の解明に関する研究 ・生薬からの抗菌製剤の開発研究
寄生虫・免疫病因病態学	岸 本 英 博 hidek@med (1127)	<ul style="list-style-type: none"> ・免疫記憶誘導機構の分子細胞生物学的解析 ・胸腺における Negative Selection の分子機構の研究 ・新規がん免疫療法の開発 ・移植片に対する寛容誘導の研究 ・感染症のワクチン効果に関する免疫賦活剤の検討 ・感染症に対する新規抗体医薬品の開発
皮膚病態制御学	高 橋 健 造 kenzot@med (1153)	<ul style="list-style-type: none"> ・沖縄・琉球諸島に多い皮膚症の解析 ・カポジ肉腫・血管肉腫の発症病態の解明 ・ヒトの皮膚の創傷治癒遅延の解明 ・皮膚の内因性老化を促進する因子の探索 ・角化症治療薬の創薬
免疫学	田 中 勇 悦 yuetsu@ s4.dion.ne.jp (1202)	<ul style="list-style-type: none"> ・病原性ヒト・レトロウイルス (HIV、HTLV) 感染を制御するヒトの免疫応答を解明する。 ・免疫応答における副刺激シグナル OX40-OX40L の機能解析とその応用 ・ヒト化免疫不全マウスを用いた感染免疫学の研究 ・ガンに対するペプチドワクチン開発
感染症・呼吸器・消化器内科学	藤 田 次 郎 fujita@med (1142)	<ul style="list-style-type: none"> ・内科領域における感染症の臨床的研究 ・新規抗微生物薬の臨床応用に関する研究 ・各種病原微生物の病原遺伝子検索 ・各種病原微生物と生体サイトカイン動態の解析 ・新しい手法によるレジオネラ病原遺伝子の解析

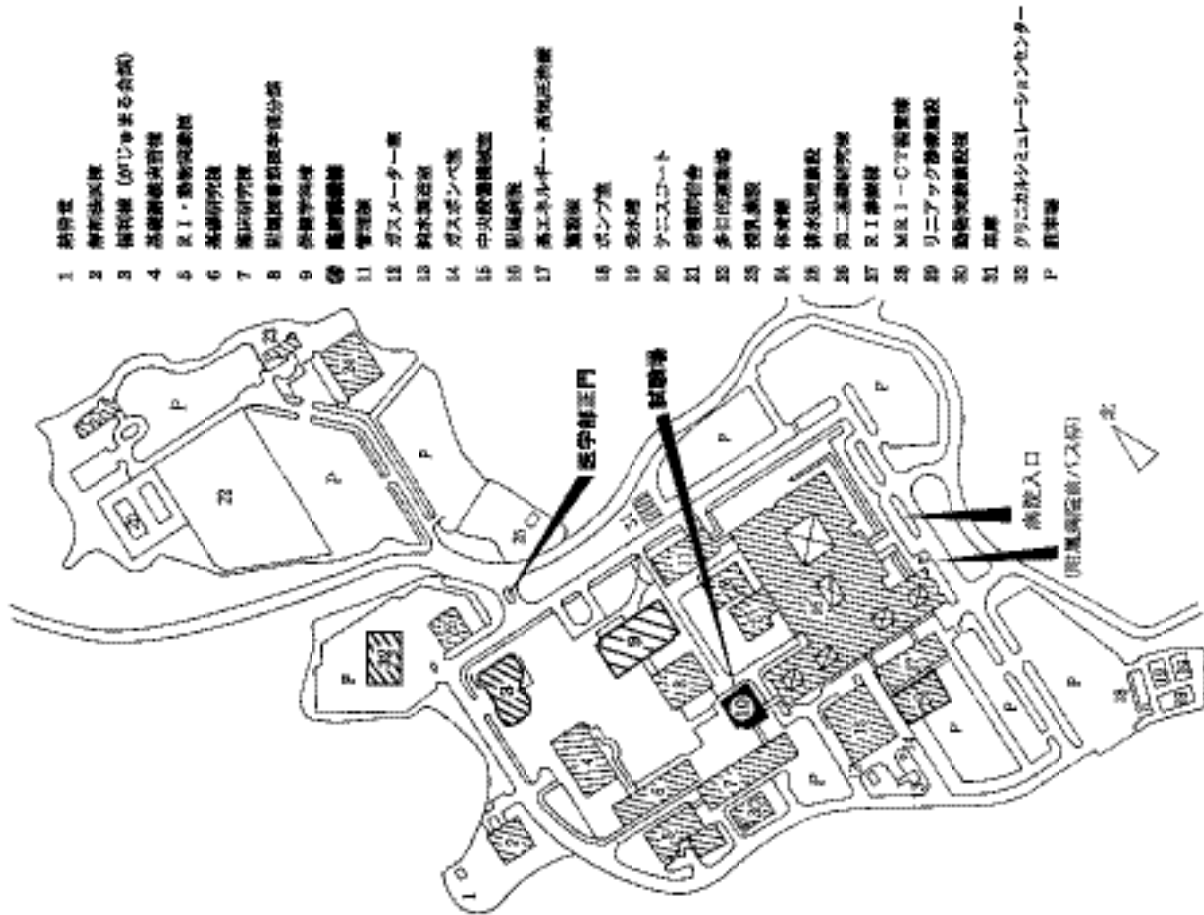
講 座	指導教員(教授) メールアドレス (ダイヤルイン)	研 究 内 容
ウイルス学	大 野 真 治 soono@med (1708)	<ul style="list-style-type: none"> ・ウイルス感染メカニズムの解明 ・ウイルス感染症モデル動物の作出と解析 ・ウイルスの増殖、感染維持、病原性に関わるウイルス遺伝子と宿主因子の研究 ・蚊媒介性病原体の網羅的探索とリスク分析 ・新しいワクチンの開発と評価
生体防御学	松 崎 吾 朗 matsuzak@comb (8968) (千原地区)	<ul style="list-style-type: none"> ・結核を中心とした細胞内寄生性細菌感染に対する免疫/生体防御応答について、以下の3点に焦点を当てて研究 <ul style="list-style-type: none"> 1) 炎症性サイトカインによる感染防御免疫の制御機構 2) 結核菌による宿主免疫修飾機序 3) 炎症とプログラム細胞死の相互制御機構 ・上記の情報に基づく新規抗肺結核ワクチンの開発
感染免疫制御学	新 川 武 tarakawa@comb (8974) (千原地区)	<ul style="list-style-type: none"> ・腸管毒素原性大腸菌 (ETEC) 及び腸管出血性大腸菌 (EHEC) 感染症に対するトキソイドワクチン並びに治療用モノクロナル抗体の開発 ・カイコ発現系を活用したウイルス様粒子 (VLP) サブユニットワクチンの開発並びに原虫感染症に対するイムノクロマト診断薬の開発 ・熱帯生物資源からのアジュバント候補化合物探索とその構造解析並びに免疫学的作用機序解明に関する研究 ・ハブ毒に対する治療薬研究
臨床研究教育管理学	植 田 真 一 郎 blesseyou@med (1193)	<ul style="list-style-type: none"> ・臨床研究の現実的なデザイン、研究計画作成、データ管理、解析 ・臨床研究の品質管理

所在地略図



○ 試験場
○ ハンター座 (海浜)

医学部建物配置図

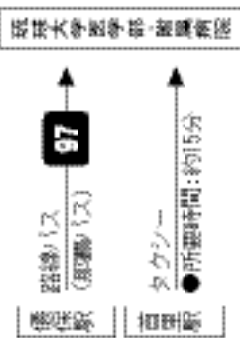


- 1 待合室
- 2 解剖法実習棟
- 3 解剖棟 (解剖実習を含む)
- 4 基礎解剖実習棟
- 5 R.I. 動物実験棟
- 6 基礎研究棟
- 7 解剖研究棟
- 8 附属図書館医学部分館
- 9 保健学実習棟
- 10 産科実習棟
- 11 管理棟
- 12 若スモーター棟
- 13 利水実習室
- 14 ガスボンバー棟
- 15 中央設備棟
- 16 附属病院
- 17 高エネルギー・高圧放射線実験棟
- 18 ポンプ室
- 19 受水棟
- 20 シュースコート
- 21 新館受付台
- 22 多目的実習室
- 23 授乳施設
- 24 体育館
- 25 排水処理施設
- 26 第二基礎研究棟
- 27 R.I. 実験棟
- 28 MRI-CT 検査棟
- 29 リニアック診療施設
- 30 臨床放射線施設
- 31 車庫
- 32 クリニカル・シミュレーションセンター
- P 駐車場

モノレール

空
モノレール
●所要時間:約25分

港
モノレール
●所要時間:約27分



バス

路線バス(20~30分に1本)
97 番線(琉大線) 那覇バス株式会社
所要時間:約30分
のりば:市街線/スターミナル4番ホーム
経路:バスターミナル→国際通り(物志)→
儀保(百聖)→琉球大学医学部・附属病院

タクシー

所要時間:約35分
経路:空港→沖縄自動車道
→琉球大学医学部・附属病院

平成30年度
琉球大学大学院医学研究科（修士課程）入学志願票

出願区分	1. 一般 2. 社会人 3. 外国人留学生 4. 出願資格 (いずれか該当するものを○でかこむこと。)	受験番号	※	
ふりがな				性 別
氏 名				男 ・ 女
生年月日	昭和 平成	年 月 日生	年齢 歳	
志望する（教育研究講座等）及び指導教員	第1志望	(講座)	指導教員	
	第2志望	(講座)	指導教員	
出願資格	1. 国立	年 月		
	2. 公立	短期大学（専門学校）	年 月	学科等 卒業
	3. 私立	大学	学部	学科 卒業 卒業見込
	4. その他			
免許・資格等				
現住所	(郵便番号)			
	電話番号	市外局番 ()	—	携帯番号 — —
試験・入学等に関する通知場所	(郵便番号)			
	電話番号	市外局番 ()	—	
		携帯番号 ()	—	

記入上の注意

- 1 青又は黒のインクを使用し、楷書で記入すること。
- 2 現住所は、詳細に記入すること。(間借り等の場合は某方まで記入すること。)
- 3 履歴事項は、裏面に記入すること。
- 4 免許・資格等の欄は、該当する者のみ記入すること。
- 5 入学資格認定を要する者は、出願区分のうち1～3を併せて選択すること。
- 6 ※印欄は、記入しないこと。

履 歴 事 項

氏 名	
-----	--

学 歴	年 月	修業年限	事項（高等学校から記入してください。）
	年 月～ 年 月	年	
	年 月～ 年 月	年	
	年 月～ 年 月	年	
	年 月～ 年 月	年	
	年 月～ 年 月	年	
職 歴	年 月	勤 務 先	
	年 月～ 年 月		
	年 月～ 年 月		
	年 月～ 年 月		
	年 月～ 年 月		
	年 月～ 年 月		
研 究 歴	年 月	研 究 先	
	年 月～ 年 月		
	年 月～ 年 月		
	年 月～ 年 月		
	年 月～ 年 月		
	年 月～ 年 月		
研 究 計 画 概 要			

平成30年度
琉球大学大学院医学研究科（修士課程）受験票

1. 一般 2. 社会人 3. 外国人留学生 (いずれか該当するものを○でかこむこと。)			写真貼付 正面向き上半身 脱帽3ヶ月以内 に撮影したもの (縦4×横3cm)
受験番号	※		
ふりがな			
氏 名			
志望する (教育研究分野等)	第1志望		
	第2志望		

- 注 1 ※印欄は、記入しないこと。
 2 この受験票は机右上に掲示しておくこと。
 3 この受験票を紛失した場合は、直ちに届け出ること。
 4 辞書は、英和、和英、医学辞書持込み可（電子辞書は持込み不可）。

----- きりはなさないこと。 -----

平成30年度
琉球大学大学院医学研究科（修士課程）写真票

1. 一般 2. 社会人 3. 外国人留学生 (いずれか該当するものを○でかこむこと。)			写真貼付 正面向き上半身 脱帽3ヶ月以内 に撮影したもの (縦4×横3cm)
受験番号	※		
ふりがな			
氏 名			
志望する (教育研究分野等)	第1志望		
	第2志望		

試験出欠確認欄	出 ・ 欠
---------	-------

- 注 1 ※印欄は、記入しないこと。

志 望 理 由 書 (修士課程)

氏 名	

(注意) パソコン等使用により作成する場合は、本様式に直接又は本様式に準じて別紙 (A 4判) に作成すること。

研 究 業 績 目 録 (修 士 課 程)

氏 名			
学術論文, 研究発表 報告, 特許等の名称	発行, 発表の 年 月 日	発行所, 発表雑誌又 は発表学会等の名称	備 考 (共著者名称)

- (注意) 1. 年代順に記入すること。
 2. 学術論文等を別刷又は写しで添付すること。
 3. パソコン等使用により作成する場合は、本様式に直接又は本様式に準じて別紙 (A 4 判) に作成すること。

研究歴証明書(修士課程)

氏名 _____

上記の者が、下記のとおり研究歴を有することを証明します。

記

在職した機関 部局及び身分	
研究期間	年 月 ~ 年 月 (年 月間)
研究題目及び研究内容	
指導教員・職・氏名	

平成 年 月 日

所在地

機関名

機関の長

印

受 験 許 可 書 (修士課程)

職 名

氏 名

上記の者が、貴大学院医学研究科を受験することを許可します。

平成 年 月 日

事業所名

所属長

印

琉球大学大学院医学研究科長 殿

記入上の注意

- 「検定料振込書」の※印欄を黒のボールペンで正確に記入してください。《依頼日、入学志願者氏名（フリガナ）、住所、振込先（枠内に○印）》
- 必ず金融機関（銀行等）の窓口で振り込み、ATM（現金自動預払機）は使用しないでください。
- 振込手数料については、志願者本人負担となります。
- 金融機関窓口から「検定料納付証明書（大学用）」を受け取る際は、取扱金融機関収納印を確認してください。
- 「検定料納付証明書（大学用）」は出願書類に同封して提出してください。

検定料振込書

検定料納付証明書（大学用）

★出願書類に同封して提出ください。

※依頼日	年 月 日	
金額	¥30,000-	
※振込先	琉球銀行宜野湾支店（普通） 428711 沖繩銀行我如古支店（普通） 1540366 沖繩海邦銀行真栄原支店（普通） 0563358 みずほ銀行那覇支店（普通） 1478859	手数料 金額 現金 内訳
※依頼者名	※募集区分 471 ※フリガナ 氏名	
平成30年度 琉球大学 検定料 医学研究科（修士課程）		



（取扱店→振込人→大学）

（振込前に志願者で切離し）

振込金（兼手数料）領収書

※依頼日	年 月 日	
振込金額	¥30,000-	
※振込先	琉球銀行宜野湾支店（普通） 428711 沖繩銀行我如古支店（普通） 1540366 沖繩海邦銀行真栄原支店（普通） 0563358 みずほ銀行那覇支店（普通） 1478859	手数料 金額 現金 内訳
受取人 口座名	国立大学法人 琉球大学	
※依頼者名	※フリガナ 氏名	
平成30年度 琉球大学 検定料 医学研究科（修士課程）		

上記のとおり領収しました。



（取扱店→振込人）

振込依頼書

電話扱

※依頼日	年 月 日	
※振込先	琉球銀行宜野湾支店（普通） 428711 沖繩銀行我如古支店（普通） 1540366 沖繩海邦銀行真栄原支店（普通） 0563358 みずほ銀行那覇支店（普通） 1478859	振込指定 428711 1540366 0563358 1478859
口座受取人	コリウダガイフカホリジン リョウキョウダガクイフケ 国立大学法人 琉球大学	
※依頼者名	※募集区分 471 ※フリガナ 氏名	
平成30年度 琉球大学 検定料 医学研究科（修士課程）		

備考

【納入期間】	平成29年 7月27日（木）から 平成29年 8月10日（木）まで
[1次募集]	平成30年 1月11日（木）から 平成30年 1月25日（木）まで
[2次募集]	平成30年 1月11日（木）から 平成30年 1月25日（木）まで

（取扱店用）



取扱店へのお願
 ○大枠内をお願い
 ○募集区分、フリガナの順に打電してください。
 （振込時金融機関で切離し）

（大学提出時に切離し）